

# 今月の安全運転管理

## 今年も 目指そう 無事故・無違反

### ①「交通安全」を宣言しよう

- 事業所として「交通安全宣言」を行おう
- 交通安全スリーS運動を実践しよう

### ②今年1年の安全運転目標を立てよう

- 年間目標を実践し、今年1年を無事故で過ごそう



事業所で「交通安全宣言」を行いましょ

新年を迎え、気持ち新たに、今年1年間の事業所としての「交通安全宣言」を行いましょ。

交通安全宣言は、昨年、事業所で一時不停止による事故や違反が多かったならば、「見通しの悪い交差点での完全停止と安全確認を徹底する」といった内容にすると事故・違反防止の意識付けに効果的です。また、「乗車の際には、子供が車の周りにいないかを必ず確認する」など、面倒で忘れがちな安全運転行動をテーマに設定してはどうでしょうか。

ここで大切なことは、その宣言に沿った運転ができていくかどうか、定期的にチェックすることです。たとえば、毎月一回、職場でのミーティング時に互いに実行状況の発表を行ったり、実践チェック表を作成し、従業員が自己チェックをして安全運転を習慣付けましょ。

交通安全スリーS運動に取り組みましょ

愛知県では、交通事故を防止するため、平成十九年から「交通安全スリーS運動」を展開しています。スリーSとは、運転者が特に心掛ける運転行動である「Stop（ストップ）」、「Slow（スロー）」、「Smart（スマート）」のキーワードの3つの頭文字のSを取ったものです。

- Stop（ストップ）
  - ・ 赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
  - ・ 横断歩道や交差点では歩行者優先
  - ・ 飲酒運転の根絶
- Slow（スロー）
  - ・ 子供や高齢者を見かけたらスローな運転
  - ・ 見通しが悪い交差点では徐行
- Smart（スマート）
  - ・ 全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転

用しないスマートな運転  
・ シートベルトの全席着用  
徹底

・ 急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど、環境に配慮したスマートな運転が挙げられます。

今一度自分の運転を見直し、常に周囲の交通パートナーを思いやる気持ちを持って、「スリーS運動」を実践しましょ。

安全運転目標を掲げて実践しましょ

事業所としての「交通安全宣言」とは別に、従業員一人一人にも今年1年の安全運転目標を設定してもらいましょ。

目標は抽象的なものではなく、「日没一時間前にヘッドライトを点灯する」といった具体的な内容にしましょ。そして、目標に沿った運転ができたかを定期的にチェックする仕組みを作り、安全運転の実践を図りましょ。